

出展のご案内

フライングカー テクノロジー

Flying Cars Technologies Exhibition & Conference

2020.11.4 **Wed.** ▶ **6** **Fri.**

会場：東京ビッグサイト 南4ホール

主催：フライングカーテクノロジー実行委員会

夢
の
実
現
へ
い
ざ
離
陸
。

www.n-plus.biz/fct/

このたび、フライングカーテクノロジー実行委員会主催のもと、“空飛ぶクルマ”の開発技術を集めた展示会「フライングカーテクノロジー」を、2020年11月4日(水)から6日(金)までの3日間、東京ビッグサイト南展示棟にて開催する運びとなりました。

空飛ぶクルマは、世界各国で注目を集めています。我が日本においても、ベンチャー企業をはじめ多くのプレーヤーが参加し、開発が進んでいます。国もこの分野を成長戦略の一つとして取り上げ、官民協議会も開かれました。同協議会では実用化を目指したロードマップが発表され、2023年に空飛ぶクルマの事業スタートを目標として掲げています。それを指標に今後ますます開発・普及に向けての活動に拍車がかかりそうです。

空飛ぶクルマは、大都市内交通、医療、観光、災害救助のほか、地方都市間交通、離島・へき地などの過疎地での交通など、多様な用途で活躍が想定されています。ヘリコプターと比較して購入・運用コストが低く、狭い場所に降りることができ、騒音の低減の効果が期待されます。開発のための実証実験を後押しするほか、離島を多く抱える自治体の実証実験の機会を提供するなど、積極的に支援する自治体も出はじめています。

他方で空飛ぶクルマの実現のためには、課題も多く存在しています。バッテリー開発、機体の軽量化、騒音対策、自動操縦、サイバーセキュリティなど、枚挙にいとまがありません。新たな法整備やインフラも含めたシステムデザインも重要です。

空飛ぶクルマは、1社で全てを行うのではなく、様々なセクターから企業が参入し、開発やサービスなどを検討していく必要があります。言い換えると、機体メーカーだけでなく、運航サービス、保険、保守、通信、ソフトウェア開発、観光、不動産など、多くの企業にビジネスチャンスがあると言えます。航空機や自動車のように安全品質と大量生産に強い日本においては、多くの企業が積極的に手を組むことで、世界をリードすることができる可能性があります。空飛ぶクルマは世界を変えるだけのインパクトを持っている一方で、イノベーションのスピードが極めて速く、参入時期の見極めが非常に難しいと言われていています。しかし日本がこの分野でリードするためには、航空機に関わる企業はもちろん、自動車などをはじめとした様々な業界からの参入が不可欠であり、またそのために必須である情報交換・商談の場として、「フライングカーテクノロジー」を企画・開催するに至りました。

ご関係の皆様、そしてこの分野へ参入を検討している企業の皆様におかれましては、積極的に本展へご出展・ご参画いただき、空飛ぶクルマの社会のいち早い実現に向けご協力いただけますと幸いです。

フライングカーテクノロジー実行委員会 委員長
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授

中野 冠



フライングカーテクノロジー
Flying Cars Technologies Exhibition & Conference

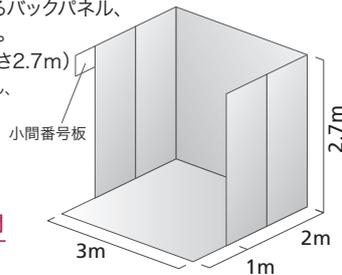
出展料金・申込方法

1 標準小間

隣接する小間がある場合、境界を仕切るバックパネル、サイドパネル、小間番号板を設置します。

●1小間=9㎡(間口3m×奥行3m×高さ2.7m)

*予算・自社のイメージに合わせて小間数を決定し、自由に追加装飾してください。



¥374,000 (税込) / 1小間

角小間指定

●標準1~3小間出展者

*小間数にかかわらず、下記の料金です。

*4小間以上お申込の場合は、原則角小間になるため角小間指定は不要です。

*状況により、申込を早期終了する場合がございます。

*指定のない小間に関しては、小間数・申し込み順・展示内容等を考慮して配置します。

¥110,000 (税込)

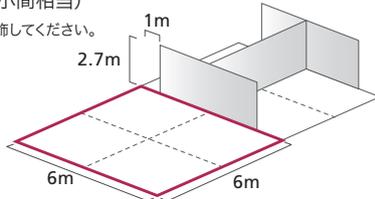
2 スペース小間

集客力抜群のレイアウトが可能! スペース料金のみの特別価格

●展示スペース=36㎡

(間口6m×奥行6m・標準小間4小間相当)

*自社のイメージに合わせて自由に追加装飾してください。



¥1,320,000 (税込)

3 実車・実機ソリューションゾーン

同時開催展と共催の主催者コーナーへの合同展示

●展示スペース=車両1台分

*備品等は含まれておりません。

・実機・モックアップ

¥165,000 (税込)

申込方法について

1) 申込方法

出展申込書(別添)に必要事項をご記入の上、下記事務局に原本をご提出ください。

フライングカーテクノロジー事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2

大同生命霞が関ビル4F アテックス(株)内 TEL:03-3503-7621

2) 申込締切日

2020年5月29日(金)

但し、予定小間数に達し次第締切ります。

出展要項

小間規格について

1) 標準小間・スペース小間

隣接する小間がある場合、境界を仕切るバックパネル、サイドパネルは事務局の負担で設置します。

※独立小間には、パネルを設置しません。

角小間など隣接する小間のない場合、サイドパネルは設置しません。

2) 小間位置の決定

各出展者の小間位置の決定は、出展内容、出展規模、実演の有無、出展申込順等を考慮し、会場計画に基づき事務局が決定します。

出展小間料金について

1) 出展小間料金に含まれるもの

- ・出展小間スペース(バックパネル、サイドパネル)
- ・招待券(出展小間数に応じた規定枚数)
- ・事務局による企画運営費および広告宣伝費
- ・公式WEBサイトおよび会場案内図への社名掲載

2) 出展小間料金に含まれないもの

- ・出展者独自の自社小間の装飾、設営、運営費
- ・出展者が追加した自社小間内の電気、水道、ガス等設備工事費および使用料
- ・自社出展機器などに対して付保した損害保険料
- ・展示・実演および搬入・出作業の際に発生した対人傷害などの事故にかかる費用
- ・法令および展示規則に基づく展示装飾等の改修費用
- ・その他、出展小間料金に含まれない費用

3) 出展小間料金の支払い方法

事務局が申込書記載内容を確認後、請求書を発送します。

支払期限: 2020年6月30日(火)

※振込手数料は申込者がご負担ください。

◆口座名義: フライングカーテクノロジー事務局

◆振込先: みずほ銀行 新橋支店 ◆普通預金口座: 4112367

4) 出展申込の解約(キャンセル)

出展申込者の都合により出展の取り消し、または変更があった場合は、下記のとおり解約料を申し受けます。

なお、出展申込のキャンセルは、書面にてのみ受理します。

書面による解約通知を受領した日	解約(キャンセル)料
2020年6月30日(火)以前	出展小間料金(税込総額)の50%
2020年7月1日(水)以降	出展小間料金(税込総額)の100%

5) 申込の保留・取り消し

出展内容が本展示会の趣旨にそぐわないと判断した場合は、事務局はその受付を保留または拒否することがあります。

6) その他

出展に伴う詳細につきましては、後日「出展マニュアル」を作成し、出展者説明会にて発表いたします。

スケジュール



お問い合わせ: フライングカーテクノロジー事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル4F アテックス(株)内
TEL: 03-3503-7621 FAX: 03-3503-7620 E-mail: office@n-plus.biz

www.n-plus.biz/fct/

ポスト2020時代のものづくり&モビリティ



開催概要

【名称】 フライングカーテクノロジー
 【会期】 2020年11月4日(水)～6日(金) 10:00～17:00
 【会場】 東京ビッグサイト 南4ホール
 【主催】 フライングカーテクノロジー実行委員会
 委員長 中野 冠
 (慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授)
 【共催】 航空機電動化(ECLAIR)コンソーシアム/アテックス(株)
 【来場者数】 30,000名(予定・同時開催展含む)[2019年実績 29,075名]
 【入場料】 2,000円(税込・招待券持参者、事前登録者は無料)
 【併催行事】 フライングカーテクノロジーセミナー
 【同時開催】 エヌプラス(N+) / EVEX(EV・PHV普及活用技術展) / SATEX(衛星測位・位置情報展)



「空の移動革命」実現へ向け、日本の技術が東京に集結

フライングカー テクノロジー Flying Cars Technologies Exhibition & Conference

SFの世界とされていた空飛ぶクルマが、実現しつつあります。交通システムの革命だけでなく、新たなサービスの誕生など、次世代のモビリティとして、その可能性は大きく広がります。国内では多くの企業が空飛ぶクルマのリサーチを進めており、関心の高さがうかがえます。国内外で開発が進む中、解決すべき課題も山積しています。そしてこの新しい市場のルールやモデル形成は現在進行形であり、日本がこの分野でリードすることも大いに期待されます。空飛ぶクルマが飛び立つため、貴社の優れた素材や技術が必要としています。



Point 1 **空飛ぶクルマをテーマにした国内唯一の技術展示会！**

国内外で開発が進む空飛ぶクルマ。開発に関わる**素材・部品・技術に特化した専門展**は国内初。機体の開発には多くの企業の参画できる可能性が多分にあります。貴社の製品・技術が世界に羽ばたく絶好のチャンスです！

Point 2 **2020年は「空飛ぶクルマ 元年」**

2020年、国内でも有人飛行試験が始まり、この動きはさらに加速すると思われま。夏には東京で国際的ビッグイベントが、そして海外では10月に国際万博が控えており、それに合わせてデモフライトを計画する国内外のメーカーが多数あります。まさに本年は「空飛ぶクルマ 元年」となりそうです。

Point 3 **自動車から航空機へ！業界を超えたマッチングを促進**

今、自動車業界では電動化や自動運転に注目が集まっています。同時に、**これらの技術を航空機へ活用しようとの動き**も高まっています。特に空飛ぶクルマは、航空機関係者だけではなく自動車関係者からも大いに期待されている分野です。同時開催のEVEX(電気自動車)とSATEX(衛星測位技術)が本展との相乗効果を生み出します。

Point 4 **機体メーカー 参入希望者を確実に誘致！**

空飛ぶクルマのメーカーをはじめとした有識者による実行委員会を組織することで、本分野の最新情報や今後予想される展開など、関心度の高いセミナーを企画します。関連する展示とセミナーで濃密な商談機会を創出し、関係者を確実に誘致するだけでなく、参入を希望する業界関係者にとっても必見の展示会を実現します。

出展対象

- **素材・材料・部品**
 - ・電動/ハイブリッドシステム・バッテリー・モーター・センサー
 - ・材料、素材(樹脂、金属、セラミック、ガラス、CFRP、CNF等)・接着、接合・機体部品・電子部品・光学部品
- **技術提案**
 - ・自動操縦・姿勢制御・測位技術/マッピング・成形、加工技術・軽量化・省電力化・静粛化・騒音対策
 - ・ダウンウォッシュ対策・安全対策(サイバーセキュリティ、墜落対策)
- **運航・運用関連**
 - ・運航管理/ナビゲーション・離着陸インフラ・気象予測・保険
- **機体**
 - ・試作機/実機・モックアップ
- **機器・機械・ソフトウェア**
 - ・機械(3Dプリンター等)・工具・試験、計測機器・CAD、CAM、CAE
- **サービス・その他**
 - ・試作、加工サービス・テストサービス・認証サービス・メディア(専門紙誌)・国、自治体(実証実験協力等)

来場対象

- **参入済み企業**
 - ・機体メーカー
- **参入検討企業**
 - ・自動車
 - ・航空
- **普及促進**
 - ・国・自治体
 - ・大学
 - ・研究機関
- **利用者**
 - ・警察・消防
 - ・物流
 - ・救急搬送
- **資金援助**
 - ・ファンド
 - ・銀行

フライングカーテクノロジー セミナー

会期中には、空飛ぶクルマの最新情報を発信するセミナーを開催。開発技術の動向、法整備の状況と今後の展開、業界の今後の展望など、さまざまなテーマで有識者を招聘したプログラムを実施します。(テーマ、詳細は夏ごろ公開予定)

